

仮設の中学校で最後の卒業式をした学年です。震災は小学2年生の終わり。地震に対する恐怖心がまだなくて、「何だこれは」と大きな揺れを楽しんでいたように記憶しています。原発事故が起きて、父の実家がある東京都へ避難。周りの大人の不安な様子は感じていました。

その後、福島市に移動し、川俣中学校を間借りした小学校へ通い始めました。3つの小学校が一緒になって、知っている人、知らない人が入り混じり、二方ですと緒だった人がいなくなつて、最初は混乱しました。今考えると、あの年齢だったから、適応していったのかなと思います。通学時間が長くなりましたが、友達とたわむれながらのバス通学はかえつてうれしいことでした。辛かったのは、ボツンと友達が



はなれていても

神代 優太さん（大久保・外内） 福島県福島市在住

転校していくことでした。もちろん転校をしても、そこでいろいろな出会いや体験があったと思いますが、村の学校でしか味わえなかったこと、できなかったことがたくさんありました。芸能界で活躍する人が訪ねて来てくれたり、外国の方たちとミュージカルをしたり。中学校の生徒会では、いろいろな学校との交流も行いました。伝統芸能、動画制作、それらの発表もよい経験となり、人前で何かをする時、すんなりできるようになつていました。

今回成人式の実行委員となりました（P16参照）。人生に1回きりのイベントですから、委員として準備と運営をしつかり進めたい。そして何より友達との再会が楽しみです。将来の職業もまだはつきり決まっていらない現在ですが、お世話になった飯館村の復興がこれからも続いていく中で、何らかの形で関わっていかねばと思っています。



第167回
芥川賞受賞
作です。

交流センター「ふれ愛館」だより
おすすめ図書を紹介します
読書の秋を楽しみましょう

地域おこし協力隊 いいたてDIARY ダイアリー



8月に入り、「いいたて希望の里学園」の8～9年生の語学研修に同行し、オーストラリアへ行ってきました！子どもたちにとっては初めての海外。現地の学校と一緒に授業を受けたりランチを楽しんだり。週末にはホストファミリーに動物園やショッピングモールに連れて行ってもらったようです。オーストラリアのご飯の大きさに驚いたり、移民国家なので「様々な国や文化が違う人々と一緒に生活する」というのがどんな感じか少し垣間見えたのではないかと。たった1週間ではありましたが皆大きく成長しましたよ！（最後の方には日本食が食べたいという声がちらほら笑）



今月のライター
飯館村地域おこし協力隊
横山 梨沙さん

ナスは種類によって
形や大きさもさまざま。
食べ方もバリエーションが豊富です。



おいしい飯館！までいの食卓

生産者の皆さんにおいしい食べ方を聞いてみよう！

焼いても、茹でて、揚げてもおいしい

さまざまな野菜をつかって、道の駅の直売所に出しています。私は出身が韓国なので、いろいろな韓国料理をつくりませんが、ナスは、焼いても、茹でて、揚げてもおいしいですから、韓国、日本、どちらの料理に使ってもいいなあと思います。ぜひおいしく、召し上がってください。



天ぷらに
ひと玉添え！
天ぷら粉にもち米の粉を混ぜ、塩と砂糖少々で味を付け衣にします。



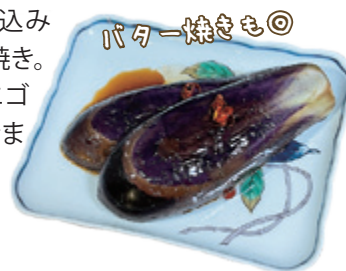
林 善美さん
（白石）



茹でて和え物に

茹でて冷ましたナスを長めに切り（手でさいてもOK）、醤油・ゴマ油（エゴマ油）・砂糖少々で味付け。みじん切りのネギ・タマネギ、唐辛子、ゴマをトッピングしてでき上がり。

半分に切ってヘタを取り、皮の表面に切り込みを入れてバター焼き。醤油とゴマ油（エゴマ油）でいただきます。好みで辛味を加えてください。



バター焼きも◎